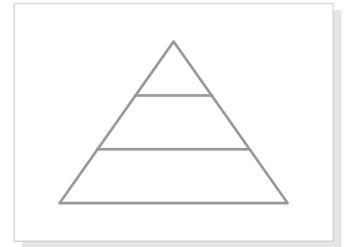


ピラミッドチャート

目的のために使うスキルと思考ツール

- ・根拠のある予想をするために**構造化**する
- ・「**ピラミッドチャート**」を使うと…



使い方

問題(予想のテーマ)について気付いたことと、問題に似ていること、関係ありそうなことについて知っていることを、整理して、キーワードにまとめていくことで、予想とその根拠が見つかりやすくなります。

集めた手がかりを構造化して予想を立てるため、ピラミッドチャートを使うときは、次のようにしましょう。

1. 下の段に、問題(予想のテーマ)について気付いたことを書きます。
2. 問題と似ていることを連想して、それについて知っていることを、これも下の段に書き出します。このとき、似ているものや関係しそうなものは、集めて近くに貼るようにしましょう。
3. 何に注目して集めたのかを考えながら、似た情報ごとに下の段の情報を自分の言葉でまとめて、真ん中の段に書きます。
4. 真ん中の段に書いた内容を組み合わせ、関係付けることで立てた予想を、上の段に書きます。

※ほかの人に考えを伝えるとき、上(予想)から中(予想の根拠)、下(手がかり)の順で伝えたり、その逆で伝えたりすると、うまく説明できるようになります。

使用例 【ヘチマのツルがすぐくのびる日があるのはどうしてかを予想するとき】

1. 下の段(手がかり)に、問題(予想のテーマ)について気付いたこと(日によって伸びが違う、気温の高い日、風の強い日、雨の降った日があった)をピンクのカードに書いて、貼ります。
2. 問題から気付いた天気の状態と関係ありそうなこと(植物を育てた経験から、日光、水やりなど)を青のカードに書いて、これも下の段に貼ります。このとき、似ていることは、集めて近くに貼るようにしましょう。
3. 何に注目して集めたのかを考えながら、似た情報ごとに下の段の情報を自分の言葉でまとめて、真ん中の段(予想のカギ)に書きます。
4. 真ん中の段に書いた内容を組み合わせ、関係付けることで立てた予想を、上の段に書きます。真ん中の段にまとめたことが予想の根拠となります。

例:ヘチマがすぐく伸びる日があることと、植物を育てたときに日光にあてたり水をあげたりしたことを結び付けると、晴れた日のあと雨がふるとよく育つのかも



※やるキットの記入例